

第30回埼玉県クラブユース（U-14）サッカー選手権大会

【大会実施要項】

- 趣 旨 日本次代を担うクラブユース年代の少年達(U-14)のサッカーの技術の向上と健全な心身の育成を図り、長期的な視野に立ち各加盟クラブの更なる発展・進歩を目的とするとともに、クラブチームのチャンピオンシップを競う。
- 主 催 埼玉県クラブユースサッカー連盟
- 協 賛 朝日新聞「埼玉少年少女スポーツ」 株式会社モルテン サッカーエイドさいたま
- 協 力 埼玉新聞社
- 試合日程 2020年9月6日(日)～2020年2月 1日(土)

【1次リーグ】

- MD① 2020年 9月 6日(日) or 9月12日(土)
MD② 9月19日(土) or 9月20日(日)
MD③ 11月 1日(日) or 11月 3日(祝)
MD予備日 9月22日(祝) ・ 10月10日(土) ・ 10月18日(日) ・ 10月24日(土)
プレーオフ 12月 5日(土) or 12月 6日(日) ・ 12月19日(土)
予備日 12月20日(日)

※土曜授業の状況などを鑑みて各リーグ及び対戦相手と調整の上、それぞれのどちらかのMDで開催をする。

※上記MD及び予備日以外の他の公式戦日程も他の公式戦が行なわれない場合は本大会のMD及び予備日としてリーグ日程消化に努めるものとする。

【トーナメント】

- 1回戦 2021年 1月11日(祝) 予備日 1月17日(日)
2回戦 1月23日(土)
準決勝 1月24日(日)
決勝 1月30日(土) 1月31日(日)

- 会 場 埼玉県内各地

7. 参加資格

(公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なおかつ日本クラブユースサッカー連盟・関東クラブユースサッカー連盟・埼玉県クラブユースサッカー連盟に加盟するチームであって次の条件を満たすものに限る。

- ①参加選手は、他のクラブチーム及び中学校サッカー部に二重登録されていないこと。
- ②参加選手は、2006年4月2日以降に生まれた者とする。
- ③参加選手は(公財)日本サッカー協会の写真付選手証または写真付選手一覧にて本人確認が出来ること。
ただし、上記の方法で選手確認が出来ない場合の救済措置として、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合については出場を認めるものとする。
- ④参加チームは2020年7月26日までに参加資格を有する15名以上の選手が所属しているチームであること。

- ⑤(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加させる事が出来る。この場合同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手に参加させる事も可能とする。なお、本項適用対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適用対象外とする。但し第3種年代選手の大会参加資格を有する選手数が11名以上いることとし、第4種年代の選手の場合は試合当日のメンバー表記載は5名以内とする。試合出場は2名以内とする。また先発選手に4種年代が2名いる場合はその他の4種年代選手はメンバー表に記載できない。(斜線等で削除すること)
- ⑥選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、下記の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。但し、15名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
- (1)合同するチーム及びその選手は、それぞれ①から⑤の条件を満たしていること。
 - (2)極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - (3)大会参加申込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - (4)合同チームとしての参加を当連盟理事長が別途了承すること。
- ⑦本大会期間中に選手が他のクラブに移籍した場合、諸手続きを行い(公財)日本サッカー協会の写真付選手証を携帯していれば移籍先のクラブで試合に出場することが出来る。また、前所属クラブで警告、出場停止がある場合は、前所属クラブから移籍先クラブ及び本人に伝えなければならない。また、移籍先クラブより大会担当に必ず報告する。
- ⑧大会期間内に大会で使用できる会場を提供できるチーム。
- ⑨抽選は理事及び競技委員の代理抽選で行うことを了承していること。

8. 大会方式

- ①浦和レッズ・大宮アルディージャは、1次リーグを免除し決勝トーナメントから参加する。
- ②1次リーグは各グループ、各ブロック4、5チームでの総当りリーグ戦で行う。
グループA(8チーム×3ブロック、10チーム×1ブロック)各ブロックを4チームまたは5チーム×2ブロックに分けリーグ戦を行う。その後、各順位でプレーオフを行い1位から8位または10位までを決定する。各ブロック3位(1位決定戦2チームと3位決定戦勝者)までの12チームが決勝トーナメントに進出する。
グループB(10チーム×4ブロック)各ブロックを5チーム×2ブロックに分け、各ブロック1位チームが決戦戦を行い、勝者2チームが決勝トーナメント進出
1次リーグのクラス分けは前年度の埼玉県ユース(U-13)選手権クラブ大会の成績を反映させる。
- ④決勝トーナメントは1次リーグから14チーム、浦和レッズ・大宮アルディージャの計16チームのノックアウト方式にて行い、第4位までの順位を決定する。
- ⑤決勝トーナメントの抽選は1次リーグ抽選の際に理事及び競技委員の代理抽選にて行う。
- ⑥本大会の成績は、第36回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会埼玉県予選に反映される。

9. 競技方法

- ①ルールは、2019/2020年度(公財)日本サッカー協会競技規則による。
- ②試合時間は、60分(30-7-30)とする。
- ③競技時間内に勝敗の決まらない場合は、引き分けとする。但し、決勝トーナメント1、2回戦においては競技時間内に勝敗の決まらない場合はPK戦方式により勝敗を決定する。準決勝以降は5分間の休憩後、20分(10-10)の延長戦を行い、なお決まらない場合は1~2分休憩後PK戦方式により勝敗を決定する。
- ④リーグ戦における順位は、次の通りとする。
 - (1)勝ち3点・引き分け1点・負け0点とし、勝ち点の合計により順位を決める。

- (2)勝ち点が同じ場合は、得失点差の多いチームを上位とする。
- (3)得失点差が同じ場合は、総得点の多いチームを上位とする。
- (4)得点と同じ場合は、当該チームの対戦で勝利チームを上位とする。なお、対戦が引き分けの場合はフェアプレーポイント(退場3点・警告1点)の少ないチームを上位とする。
- (5)すべてのポイントが同じ場合は、抽選とする。
- ⑤配布した指定用紙(25名登録)を複写してメンバー表とする。メンバー表に先発選手を記して当日のメンバー表に記載された選手の選手証と合わせて試合開始時刻60分前までに試合管理者に3部提出する。交代選手は11名以内とする。外国籍選手の場合はメンバー表記載5名以内、出場3名以内とする。メンバー表には必要事項以外記入しないこととし、ベンチ入りしない選手は削除すること。但し、「クラブ申請」を適用するクラブは提出するメンバー表・選手証とともに、クラブ申請承認番号の記載されているクラブ申請回答書(コピー可)も合わせて提出する。試合管理者はメンバー表と選手証にて大会参加資格を有する選手かを確認し試合を行なうこと。
- ⑥警告
- (1)1次リーグで出された1回の警告は決勝トーナメントには持ち越されない。
- (2)1次リーグの異なる試合で2回の警告が出された場合は、自動的に今大会次の1試合に出場できない。この措置は決勝トーナメントに持ち越される場合もある。
- (3)チーム役員についても同様とする。
- ⑦出場停止
- (1)試合中に退場、もしくは同一試合中に2度の警告を受け退場処分を命ぜられた選手は、自動的に今大会の次の1試合に出場できない。その後の処置については、規律委員会にて決定する。(他の大会に持ち越される場合もある。)
- (2)警告累積は、本大会で終了し以降の大会に持ち越さない。但し、この措置は次の大会に持ち越される場合もある。(試合中に退場処分が出された場合)
- (3)チーム役員についても同様とする。
- ⑧試合中にチーム役員がベンチに1人もいなくなった場合(選手怪我対応時を除く)、試合はその時点で終了とする。試合結果等はその後理事会、規律委員会にて協議し、決定する。
- ⑨大会参加申込みは、7月19日(日)までに申込書を競技委員の高山氏に送付する。
- ⑩原則として試合開始時刻に試合を開始できないチームは、その1試合に限り不戦敗とする。リーグ戦の場合は、(0-3)の不戦敗とし、その後の処置については規律委員会にて協議して決定する。

10. 表彰 優勝以下第4位までの表彰を行う。

- | | | | | |
|------|----|-------|----------|---------|
| ①優勝 | 賞状 | トロフィー | カップ(持回り) | 金メダル25個 |
| ②準優勝 | 賞状 | トロフィー | | 銀メダル25個 |
| ③第3位 | 賞状 | トロフィー | | 銅メダル25個 |
| ④第4位 | 賞状 | トロフィー | | |

11. 審判

- ① 1次リーグの主審は原則として3級以上とし、副審・第4の審判員(有資格者)は指定チームの帯同審判員が行う。但し、今大会においては、次の条件に該当する4級審判員は、主審を行うことができる。
 - (1) 4級取得から2年以上経過しており、年間10試合以上の審判実績があり(練習試合を含む)尚且つ大会エントリー表チーム帯同審判員に明記されている者。この条件を満たした者が主審を行う際には、該当する試合の主審を行う事前に審判委員長にFAX、メールにて審判証、審判実績の写しを提出すること。(該当試合2日前まで)
 - (2) その他(審判委員会において承認もしくは推薦されたもの)
- ② 決勝トーナメント2回戦までの主審、第4審は連盟より派遣審判員で行う。副審はチーム帯同審判員で行う。
- ③ 決勝トーナメント3回戦からは連盟より派遣審判員で行う。第4審判も同様とする。

12. その他

- (1) ユニホームのシャツの前面・背面に必ず番号をつける。大きさは前面が縦10cm程度、背面が縦25cm程度、横はそれに比例して適当な大きさで、番号は見やすいものとする。
- (2) 試合開始時刻の60分前に会場本部において行うユニホームチェックはカラー写真でも可とする。
- (3) 試合当日の気候により、各試合会場責任者と当該試合審判団の協議の上、飲水タイムまたはCoolingbreakを設けることがある。
- (4) ベンチ入りできる人数は、試合当日にて登録された役員5名、選手25名以内とする。尚、30名以外はピッチレベルに入ることはできない。
- (5) 会場責任者は、大会結果報告書を広報担当・大会担当、警告退場者報告書を大会担当にメールで報告しそれぞれの報告は原則として試合当日の19時までに行うこと。
大会結果報告書・各試合記録・メンバー表・審判報告書・大会交通費領収表は高山氏に試合の翌日迄に投函すること。なお、担当する会場での試合中に退場者(警告2枚での退場も含む)及び退席者があった場合には、審判報告書(重要事項も含む)を競技委員長及び大会担当に原則として試合当日の19時までメールにて報告する。
- (6) 天候不良等、不測の事態で競技が中断した時は、その中断した状態から再開する。その際は中断した時点で競技委員長、大会担当へ必ず報告する。
- (7) 各チームは「公式戦開催におけるガイドライン」を順守の上、感染症予防に努めること。
- (8) 本大会要項に規定されていない事項については理事会において協議の上決定する。新型コロナウイルス感染症関連の事項が発生した場合も同様とする。